

R7年度多機能型事業所すまいるはーと自己評価（児童発達支援）

公開日：令和8年 2 月 13日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	2		必要な基準は満たしているが活動の内容によって個室を使用するなど工夫している。
	②	職員の配置数は適切であるか	6	1		必要な基準人員にもう一人以上加算して配置できるようにしている。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	3	1	全てがバリアフリーではないが、現在は不便なく使用している。必要に応じて検討。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	4	3		毎日清掃し気持ちよく過ごせるように努力している。買う同内容によっては工夫が必要。
業務 改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7			実施している。
	⑥	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意見等を把握し、業務改善につなげているか	7			実施している。
	⑦	事業所向け自己評価及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、その結果による支援の質の評価及び改善内容を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			実施している。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	1	3	今のところ実施の予定はない。機会があれば外部からの意見を聞いている。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			実施している。
適切 な 支 援 の 提 供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達及び放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			面談時に行い、ニーズと課題を踏まえながら計画を立てている。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7			使用している。
	⑫	支援計画には、各ガイドラインの提供すべき支援の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で支援す内容から子どもの支援に必要な支援が選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7			努力している。
	⑬	各支援計画に沿った支援が行われているか	7			計画に沿った支援ができるように努力している。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			行っている。
	⑮	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	7			日々のルーティンと長期休みの特別活動を組み合わせる工夫している。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる支援計画を作成しているか	7			努力している。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			毎回支援前に実施し、確認した上で支援している。
	⑱	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	7			終了後には出来ていないが支援前の打ち合わせで確認している。

R7年度多機能型事業所すまいるはーと自己評価（児童発達支援）

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	⑭	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	1		努力している。改善につなげられるよう努力したい。
	⑮	定期的にモニタリングを行い、各支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6		1	実施している。
関係機関や保護者との連携	⑯	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			必要時に管理者や担当指導員が出席する。
	⑰	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4	3		機会があれば行う。
	⑱	学校等との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7			行う。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを支援している場合は、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等との連携、及び子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3		3	現在は受け入れがなく、今後も予定はない。
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、小学校や特別支援学校等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7			必要時に連携している。
	㉖	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3		4	現在卒業を控えた児童はいない。
	㉗	他の児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3		4	近くにセンターはなく助言を求めるのは難しい。
	㉘	保育所・認定こども園等や放課後児童クラブ等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	1	5	要望などを含めて必要かどうかを検討する。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	7			代表が参加している。
	㉚	日ごろから子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			HUGアプリを使用し実施している。以前に比べ細やかなやり取りができるようになったと感じる。
	㉛	保護者の対応力の改善を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	1	1	5	面談時に個別でアドバイス等できるように努めている。全体での実施については検討していく。
保護者への説明責任等	㉜	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			契約時に実施している。
	㉝	各ガイドラインの「提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された各支援計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から同意を得ているか	5	2		実施している。
	㉞	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			面談時の他、困りごとがあれば相談していただけるよう声がけしている。
	㉟	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	1		年一回合同行事を企画し、保護者間での交流の機会を作っている。
	㊱	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			マニュアルに沿って迅速に対応できるように努めている。
	㊲	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			実施している。

R7年度多機能型事業所すまいるはーと自己評価（児童発達支援）

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
	③⑧	個人情報に十分注意しているか	6			配慮している。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や 情報伝達のための配慮をしているか	7			努力している。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に 開かれた事業所運営を図っているか	1		6	キッチンカーを呼ぶなど近所の方も参加で きる機会を作ったが成果を得るのは難しかっ た。今後検討する。
非 常 時 等 の 対 応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対 応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知してい るか	7			合同行事の際に閲覧場所を設置するなどして 周知に努めた。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出、その他必要な訓練を行っているか	7			計画に沿って行っている。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子 どもの状態を確認しているか	7			行っている。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師 の指示書に基づく対応がされているか	7			すぐに確認できるようにケースファイルに保 管し、外食行事の際には特に注意している。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共 有しているか	5	2		作成しているがさらに活用できるようにして いきたい。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保 する等、適切な対応をしているか	7			実施している。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組 織的に決定し、子どもや保護者に事前に説明し了解を得たう えで放課後等デイサービス計画に記載しているか	7			必要時には実施する。

※児童支援向けアンケートを多機能型向けに標準化して評価しているため、自己評価の結果は児童発達及び放課後等デイサー
ビスともに同じです。